

## 算定方式変更で 国保料10万円アップも

高すぎて払えない国保料に国民が悲鳴を上げているさなか、菅政権は、低所得者層を中心に保険料の大幅アップにつながる国保料計算方式の変更を検討しています。神戸支部も加盟する兵庫県社会保障推進協議会(以下、社保協)がこの保険料算定方式の変更の影響を試算した結果を紹介します。

菅政権が低所得者層を中心に保険料の大幅アップにつながる国保料計算方式の変更を検討していることについて、社保協でこの保険料算定方式の変更の影響を試算したところ、年収250万円の2人世帯で10万円近い保険料アップとなることが明らかになった。

現在、神戸市が採用している「住民税方式」では、総所得金額から基礎控除および障害者控除・医療費控除などの各種所得控除を引いた算定基礎(課税所得)に保険料率をかけて保険料を算定するが、政府が押しつけようとしている「旧ただし書き方式」では総所得金額から基礎控除しか引けないため、算定基礎金額が上昇し、保険料が跳ね上がることになる。そのため、障害者控除や医療費控除、寡婦控除などの対象となる低所得者層を

中心に国保料が大幅に値上がりする。

年金250万円で生活している高齢者2人世帯で試算してみると、現在の保険料98,874円が、「旧ただし書き方式」では198,454円へと、約2倍、10万円ものアップになる。

先日開催された神戸市国保運営協議会では、市の独自控除を設けて、保険料の大幅アップを避けるとしているが、その財源は一般会計からの繰り入れではなく、全体の保険料アップでまかなうとしている。

政府の保険料算定方式改悪押しつけに反対するとともに、神戸市に対し、①国に保険料算定方式を押しつけないよう求めること、②一般財源繰り入れで保険料を恒久的に据え置くこと、を求める必要がある。

### 協会ホームページで 東日本大地震情報

協会ホームページでは、東日本大地震情報を掲載しております。被災地協会の状況や支援の取り組みなどをお伝えしております。

ぜひご覧ください。



**兵庫県保険医協会** **検索** <http://www.hhk.jp>

## 兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

237号 2011年3月25日

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

## 東日本大震災、神戸から支援の手を

神戸支部長 田中 孝明

神戸支部会員のみなさん

3月11日、観測史上国内最大となるマグニチュード9.0の大地震と大津波が東北・北関東を襲いました。16日現在、死者は3,676人、不明者は1万1,234人。目を覆うような被害に、ただ息をのむばかりです。また東京電力の福島第一原子力発電所では、自動停止した原子炉の冷却が思うように進まず、建屋が吹き飛び、炉心融解や放射能漏れを起こすなど、今なお深刻な事態が続いています。

兵庫協会・保団連では対策本部を設置し、住江保団連会長と兵庫協会事務局がすでに被災地入りするなど、被災協会・被災医療機関の支援を開始しています。

16年前、未曾有の都市直下型地震に見舞われた私たちに希望の光を灯してくれたのは、保団連・協会を含む全国からの温かい支援の手でした。大震災から立ち上がった神戸からの支援は、被災地の人々を大きく励ますに違いありません。神戸支部会員のみなさんに大きな支援を呼びかけます。

### 救援募金にご協力ください

会員の先生からの救援募金を受け付けています。ご協力ください。

【郵便振込】

<加入者名> 兵庫県保険医協会 <振込口座> 00910-2-150366

【銀行振込】

三井住友銀行 神戸営業部 普通預金 9088160 ヒョウゴケンケンキョウカイ

\*お振り込みの際には通信欄に「地震募金」と明記してください

<医療支援> 現地訪問可能な先生は協会事務局までご連絡ください。

## 「スタッフの満足度」考える研究会が好評

### 仕事の目的 常に意識して

神戸支部は2月12日に協会会議室で研究会「あなたの患者さん・スタッフは満足していますか?—患者さん・スタッフとの新しい関係づくり」を開催。医療法人池岡診療所事務長・関西学院大学大学院経営戦略研究科博士課程の森藤ひろ氏を講師に45人が参加した。感想文を紹介する。

森藤先生、貴重なお話ありがとうございました。

私がこの研修会に参加した目的は、スタッフの満足度を高めるためには、どうすればよいか?という点です。「この研修会で何を手に入れたいのですか」という質問に、参加者の過半数が「スタッフの満足に関して」と答えており、どこのクリニックもてこずっている問題だと改めて感じました。

先生の話の中で患者・スタッフの満足に関して共通するキーワードを3つ挙げるとすると、①好感が持てる態度・言動からなる『信頼』(人間関係の構築)、②目的・ゴール・目標に対する『価値観の一致』(方向性)、③目



講師の森藤氏は診療所の事務長も務めており、現場の話も交えて講演した

的に向かって行動する『参加型』(役割)、この3点だと強く感じました。

最後に流していただいたスライドで、「あなたの組織は何のために存在しているのか」を考えるにあたり9つの質問が挙げられました。その中で「あなたが仕事を通じて誰を喜ばせたいですか」「そのために今できることは何でしょう」「さあ、何から始めますか」という質問をみたとき、確かに仕事に追われるとつい目的を忘れてしまっていると思いました。常にこの気持ちを維持、継続するために皆の声かけ(誉める等)・目的の提示をし、習慣づけることが大切だと感じました。

今後、スタッフの不満、不安とその改善策について各クリニックの調査に基づき研修会を行っていただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。

朝日診療所 事務長 川崎信一



医師、歯科医師、スタッフが参加した

## 役員・会員 投稿シリーズ ①

神戸支部ニュースでは、会員どうしの交流を深めるため役員・会員投稿シリーズを始めます。テーマは自由です。ぜひご投稿ください。今回は、神戸支部幹事の鈴木明彦先生です。



### 協会活動に参加して

神戸支部幹事 鈴木 明彦先生

神戸市灘区で歯科クリニックを開業しております鈴木明彦と申します。

早いもので保険医協会の活動に参加して約1年が経ちました。保険医協会では、平和反核、国会要請活動など、幅広く活動され驚きました。

第一に、患者さんの立場にあったより良い医療を提供できるよう研究会も開催され、開業医にとってより良い会務運営をされていることを改めて知りました。

また、保険医協会の職員のみなさんがいろいろとサポートしていただいていることにも感謝しております。何もわからないまま共済部会に属し、休業保障問題で何回か東京の会議にも参加させていた

できました。

全国から先生方や事務局の職員のみなさんが参加し、よりいいものにするために熱く議論を交わして、休業保障制度が運営されていることを実感いたしました。

今までは、保険医協会の一会員で保険医新聞を読んでいるだけで、なかなかわからないことがありました。みなさんにも、ぜひ協会の活動に参加していただきたいと思っております。参加することに意義ありです。

神戸支部の幹事として、いろんな活動にも参加していきたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

開業医の手作り

### 健康情報 テレホンサービス

(4月のテーマ)

- 月曜日 ドライアイ —シェーグレン症候群にも注意—
- 火曜日 歯ぐきから血が出たら
- 水曜日 膝に水(液)が溜まった点検
- 木曜日 犬や猫に噛まれたら
- 金土日 もの忘れは認知症の始まりか?



0120 - 979 - 451